

# お知らせ

## 『NPO ひょうごしごと応援ナビ』ができました。

職業紹介所の資格を持つ県内のNPO 法人と連合などの非営利セクターとの連携による、就業導入講座から職場定着までを一貫して、雇用不安の解消に向けた取り組みを行います。この事業は連合 雇用と就労・自立カンパ (トブ太カンパ) の助成を受け実施いたします。

ホームページはこちら

<http://hyogo-shigoto.man.jp/>

### ◎合同フォーラム 求職中の方を対象に、雇用の現状や、NPO ひょうごしごと応援ナビ)をお知らせする合同フォーラム。(無料)

#### 就活劇場 『Yes, We Can!』

日時:平成21年12月15日(火)13:30~16:00 受付13:00  
 会場:けんみんホール 神戸市中央区下山手通4-16-3 兵庫県民会館9階  
 内容:第1部 基調講演 『しごと探しの転換 -自分が自分らし輝いていけるために-』  
 第2部 就活劇場 『しごと探しの自己点検はお済みですか? -自分の目線、相手の目線-』

2人が演じる就活風景を見て、ご自身の就活について考えてみてください。パネリストの皆さんからのアドバイスで明日からの就職活動が変わります。

### ◎就職ウオームアップ講座 就職前のビジネスマナーを学ぶ講座を中心に対象者のスキルアップを図ります。(無料)

#### 『ビジネスマナー講座』

日時:平成21年12月22日(火)13:30~15:30  
 会場:イグレひめじセミナー室C 姫路市本町68-290 イグレひめじ4階  
 講師:河本 栄味子氏 (トータルナター研究所 所長)

毎月県内6か所どこかの生きがいしごとサポートセンターで講座を実施。播磨西では12月22日と4月27日に実施します。

## メールマガジンの使い方

セミナー情報・求人情報・助成金情報などの最新情報をメールでゲットできます!!ぜひ、ご登録ください。登録無料。

### ↓↓登録の仕方!↓

①一番下までスクロールし、右記部分(「メルマガ登録」)を見つける。

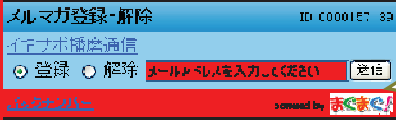
### メルマガ登録

定期的(毎月2回)にイキサポ掲載者の情報をお知らせします。

①生きサポホームページを開く。



HPアドレス <http://www.ikisapo-harima.com>



③メールアドレスを入れて送信する。後ほど送信したメールアドレスに確認のメールが届きます。

## 質問コーナー

相談時に皆さまからよく出る質問を取り上げました。

### Q. NPO法人の役員とは何ですか?どんな役割がありますか?

NPO 法では、役員として理事3人以上、監事1人以上を置くことになっています。理事は、NPO 法人の代表機関として対外的に法人を代表し、対内的には定款や社員総会の決議に従って法人の事務を執行するのが仕事です。監事は、理事の業務執行の状況や法人の財産の状況を監査し、不正事実などを発見した場合には、所轄庁や社員総会に報告する義務があり、また、必要がある場合には、社員総会を招集できるとされています。また、理事は、社員や職員を兼ねることができます。監事は社員になることができますが、組織をチェックする役割があることから、理事や職員を兼ねることができません。役員になるには、書類上名前だけ貸すものではなく上記役割を考える必要があります。

(NPO 法より一部抜粋)

### Q. NPO法人では民間の金融機関から融資を受けることはできますか?

法制度の上で融資を制限する規定はありません。任意団体では個人での契約しかできないために融資を受けられなかったのが、法人になったために融資が受けられるようになったというケースはたくさんあります。しかし、金融機関が、NPO法人に融資をしたいと考えるか否かは別の問題です。労働金庫や信用金庫などに融資を頼むこともできますが、活動経歴が2~3年以上あり、その間の決算書類が整っていることや、対象事業内容に制限があることもあります。詳しくは、各機関にお問い合わせください。

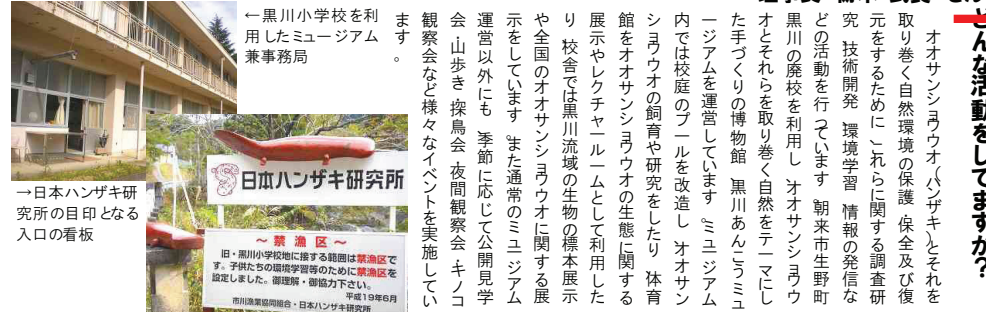
(NPO 法より一部抜粋)

## 私、生きがいしごとをしています。-その21-

# 特定非営利活動法人 日本ハンザキ研究所

活動内容を教えてください!

### 理事長 橋本 武良 さん



オオサンショウウオ(ハンザキ)とそれを取り巻く自然環境の保護、保全及び復元をするために、これらに関する調査研究、技術開発、環境学習、情報の発信などの活動を行っています。朝来市生野町黒川の廃校を利用して、オオサンショウウオとそれを取り巻く自然をテーマにした手づくりの博物館「黒川あんこうミュージアム」を運営しています。ミュージアム内では校庭のプールを改造し、オオサンショウウオの飼育や研究をしたり、体育館をオオサンショウウオの生態に関する展示やレクチャールームとして利用したり、校舎では黒川流域の生物の標本展示や全国のオオサンショウウオに関する展示をしています。また通常のミュージアム運営以外にも、季節に応じた公開見学会、山歩き、探鳥会、夜間観察会、キノコ観察会など様々なイベントを実施しています。

→日本ハンザキ研究所の目印となる入口の看板

←黒川小学校を利用したミュージアム 兼事務局

→日本ハンザキ研究所の目印となる入口の看板

「調査区」  
 旧・黒川小学校地に接する範囲は調査区です。子供たちの環境学習等のために調査区を設定しました。管理費、御協力下さい。  
 平成19年6月  
 市川漁業協同組合 日本ハンザキ研究所

これまでの道のりを教えてください。

私は元々姫路市立水族館の館長をしており、そこからオオサンショウウオの研究をしました。退職後、平成17年2月、生野町立黒川小学校と教員宿舎を借用し、黒川あんこうミュージアムを支える日本ハンザキ研究所を設立しました。オオサンショウウオを研究し始めて今年で、3年目となりました。実は当初は調査器具を置くだけのつもりでしたが、残されていた施設やすばらしい自然環境を見ているうちに、この場に住み込んで調査研究と博物館運営をすることになりました。折り返し、町の合併後の町役場の備品の余り物を譲り受けることができるという幸運や黒川周辺の皆さまの理解と協力により、今の状態を実現することができました。

現在の状況を教えてください。

昨年で約290の方が会員として協力して下さり、約100のオオサンショウウオを登録しています。インターネット上、30現在、オオサンショウウオ1匹ずつを判別し、調査研究できるように、マイクロチップを体内に埋め込んでいます。昨年度の来場者数は、290で、学校の学習や施設からの視察、また個人でも見学に来られます。ただ、通常私1人しかいないというところ、トイレの設備が整っていないというところで、一度にたくさんの方の対応ができませんので

↓個体判別登録の為、マイクロチップを挿入し採る様子。

→後のことについて教えてください。

これから改善していかないといけない点があります。水辺の生物に優しい川づくりをしようというところで、土木関係者と河川環境整備に取り組んでいます。一般的に

ができる範囲で受け入れさせていただきたいと思っています。河を干すにしても、やはり人の数が限られてるので、あまり大きなことはできません。この研究所は、集落の中心に位置するのですが、家は、集落の中心に位置するのでも、また、若い人たちは仕事のために出ていますので、力になてくれる人がなかなかいません。また、オオサンショウウオの寿命はまだ解明されていませんが、それは研究者より長生きするからです。ですから、今後研究を続けていくためには、若い方に後継者として引き継いでいくことを考えないといけない状況です。そのためにも、今は色々な助成金に挑戦し、よりよい調査研究ができるように取り組んでいます。



→生物との共生のための護岸ブロックやすずか住物が川を上る助けとなる石